令和4年3月22日

令和3年度 第3回 富岡小学校学校運営協議会 書面審議

【2月に書面審議 実施者10名】

令和4年1月に新潟県にまん延防止等重点措置が適応され、2月に入り適応が延長されることとなりました。さらに、上越市内においても新型コロナウイルスがこれまで以上に流行したため、新型コロナウイルス感染防止を優先し、会議を開催せず、書面審議に変更となりました。

後日、学校運営協議会の委員10名（校長を除く）から回答があり、令和3年度の学校経営、令和4年度の学校運営基本方針について、全員から承認をいただきました。

<審議内容>

1. 令和3年度の学校経営について

- (1) 今年度の学校経営の振り返り
- (2) 後期学校評価アンケートの結果について
- (3) 令和3年度の成果と次年度に向けた課題・改善の方向

2. 令和4年度の学校運営基本方針について

- (1) グランドデザイン改定の趣旨
- (2) 令和4年度グランドデザイン
- (3) 令和4年度教育課程の方針と年間行事予定

<委員からの感想・意見等>

- ・新型コロナウイルス禍により教育活動が大きく制約されている中、富岡小学校区の子どもたちのよりよい成長のために、鋭意ご尽力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。アンケート調査からは、子どもたちが着実に成長してきている様子がよく分かりました。前回の学校運営協議会で話題になりました、読書意欲の向上、メディアコントロール等の課題解決を目指し、着実に取組を展開していただきありがとうございます。次年度も、令和4年度のグランドデザインに記載されていますように、学校と家庭・地域が子育ての課題を共有し合い、気軽に手を携えて子育てに取り組むこ

とができればと思います。

- ・コロナ感染症が拡大している中で、評価が向上しているという事で、地域としてもありがたいと思いますし、校長先生はじめ教職員の皆様には改めて敬意を表します。コロナ感染症で新生活が定着し、外で遊ぶ子供達も見えませんが、富岡学習ルールにしたがい学校生活・家庭生活を進んで取り組んでおられると思います。
- ・先生方がアンケートで実践率 100%と答えている項目からも、誠心誠意頑張っていることが伺えました。本当にコロナ禍における教育活動の実践に敬意を表します。本年度H Pのアップ数が大変増えていました。昨年お願いしたことをよく頑張ってくれたなど感心しています。
- ・評価結果の数値化は一つの指標です。数字にとらわれすぎると一人一人をよく見るという大事なことが表面化されにくくなります。数値化による数ポイントの違いより 100人規模の富岡小では個の変容を追う方がいいと考えます。
- ・課題となっていた例として「富岡学習ルールを守っている」児童の肯定的評価 97.8%、職員 80%がありました。教師の物差しで子どもの数値を比較せず、子どもの守っているという感覚と教師の求めるものとのズレに気付くことが大きな収穫です。
- ・アンケート結果は、あくまでも学校目標実現のための一つの判断材料です。今回は、その年の重点目標に向けたP D C Aサイクルの C の段階であることを職員が理解することが大切です。次年度へのアクションをどうするかとなります。アンケート項目には、トータルで振り返りながら評価する内容とピンポイントで評価できる内容とがあり、保護者や児童が答えるには、「③就寝 30 分前にはメディアと接触を行わない子ども」は分かりやすく、新しい一つのアクションの例だと思います。
- ・iPad は、子どもたちが楽しく使えていて、授業も楽しいようなのでよいと思います。ただ、重さがあり、持って帰るのが大変そうでした。コロナ禍ですが、いろいろな行事が行われていて子どもたちも喜んでいたので親として学校に感謝しています。
- ・学校運営協議会は、小学校のことを様々に知ることができ、とてもよい機会となっています。自発的なあいさつに向けての取組やメディアコントロール等で成果をあげられており、素晴らしいと感じました。また、言葉づかいに気を付けること、友達の気持ちを想像してみることは、普段の生活の中からは、もちろん、よい絵本に親しむことから強めていかなければと、改めて感じています。
- ・コロナ禍で活動が限られていますが、できるだけ子どもたちが楽しく過ごせるように協力していきたいです。